

	<h2>第19代練馬区長 前川耀男氏初登庁</h2> <h3>～「改革ねりま」第 章 本格始動～</h3>
と き	4月17日(火)午前9時30分
<p>17日(火)、15日の練馬区長選挙で当選(再選)し、第19代練馬区長に就任する前川 耀男(まえかわ あきお)氏(72歳)が、区役所に初登庁した。区民や区職員が拍手で出迎えた。</p> <p>前川耀男区長は、就任挨拶で、「区政を『参加と協働』から、『参加から協働へ』と、変えなければいけない。新しい政策の展開、区政運営の改革、区民の皆様の参加と協働、全てにおいて23区の先頭を切って走る自治体を実現したい。新しい大都市自治の先頭を切って走る自治体になりたい。」と抱負を語った。</p> <p>前川耀男区長の任期は、平成30年4月20日から平成34年4月19日までの4年間。</p>	<p style="text-align: center;">初登庁した前川区長</p>

【前川耀男区長初登庁】

17日(火)午前9時30分、前川耀男区長は、区役所正面玄関から初登庁し、支援者や区職員から花束を手渡され、満面の笑みで写真撮影に応じた。来庁の区民や区職員が拍手で出迎えた。

午前11時から、区職員を前に就任挨拶を行い、「この4年間、区民の皆様の声に正面から真摯に向き合い、直面する困難にも正面からぶち当たって、知恵を振り絞って様々な新しい政策を立案し、実行してきた。区政をわかりやすく区民に伝え、理解を頂き、そのうえで『参加と協働』により新しい取組みを工夫してきた。

こうした4年間の取組みの成果の延長上にこそ、『改革ねりま第 章』があると確信している。区政を『参加と協働』から、『参加から協働へ』と、変えなければいけない。既に例えば、コンビニを認知症高齢者の見守り拠点にする、みどりの区民会議を通してみどりの保全創出の仕組みを工夫する、こうした取組みを区政全般に広げなければいけない。新しい政策の展開、区政運営の改革、区民の皆様の参加と協働、全てにおいて23区の先頭を切って走る自治体を実現したい。」と抱負を語った。

職員への期待として「仕事ほど大変なものは無い。しかしながら、仕事ほど面白いものも無い。仕事から逃げてはいけない。むしろ仕事を奪い合う組織を創ってもらいたい。自分たちでやるんだと言い合える組織こそが私の念願。本気で仕事をしていると必ずピンチがやってくる。ピンチこそチャンスである、そういう気概で取り組んでほしい。皆さんと一緒に新しい練馬区を創っていきたい。心から期待している。」と述べた。

【プロフィール】

- 練馬区長 前川 耀男(まえかわ あきお)
- ・ 生年月日 1945(昭和20)年11月12日生(72歳)
 - ・ 略歴 昭和39年 鹿児島県立甲南高校卒業
昭和45年 東京大学法学部卒業
昭和46年 東京都入庁
平成12年 福祉局長
平成14年 知事本局長
平成17年 東京都退職
平成17年 東京ガス株式会社執行役員
平成21年 政策研究大学院大学客員教授
平成26年 練馬区長(一期目)
平成30年 練馬区長(二期目)



職員を前に挨拶する前川区長